

令和3年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員及び教育長を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、今年度の表彰式は10月27日に文部科学省講堂で開催されました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏名	略歴 (期間)	主な功績
よしがわ しんたろう 吉澤 慎太郎	栃木県教育委員会委員 (H24. 10. 1～R2. 9. 30)	「栃木県教育振興基本計画」の策定に熱心に取り組むとともに、計画の着実な推進に尽力した。また、学校現場等との連携強化を図るため、学校・施設訪問、教職員や市町教育委員会委員との意見交換による相互理解の促進に努めた。
ながやま とみお 永山 富夫	茂木町教育委員会委員 (H15. 10. 1～R2. 9. 30) 茂木町教育委員会委員長 (H21. 10. 1～H28. 9. 30)	教育委員として17年9か月、そのうち委員長を7年にわたり務め、町の教育振興、充実、発展のために献身的に尽力した。また、児童生徒の減少による複式学級の解消や学教教育活動の弊害を解消するため、学校統合による教育環境の整備を進めるとともに、学校教育環境改善等にも努めた。
ふくち なおみ 福地 尚美	小山市教育委員会委員 (H13. 4. 1～R3. 3. 31)	教育委員として5期20年の長きにわたり、市の教育振興、充実、発展に多大な貢献があった。学校薬剤師の専門性を発揮し、感染症対策について絶えず情報収集に努めるなど、安心安全な教育活動にも尽力した。教育に関する高い見識と熱意は、広く地域住民からも敬愛されるものである。
ばんせ よしろう 伴瀬 良朗	塩谷町教育委員会教育長 (H19. 10. 1～R2. 9. 30)	教育長として13年間の長きにわたり町の教育振興、充実、発展のために尽力した。少子化が進む中、いち早く学校規模の適正化を推進し、少人数学級や複式学級の解消に努め教育環境を整えた。また、国際化社会に対応するため、外国語指導助手の配置について情熱をもって取り組んだ。